

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 黒畑 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

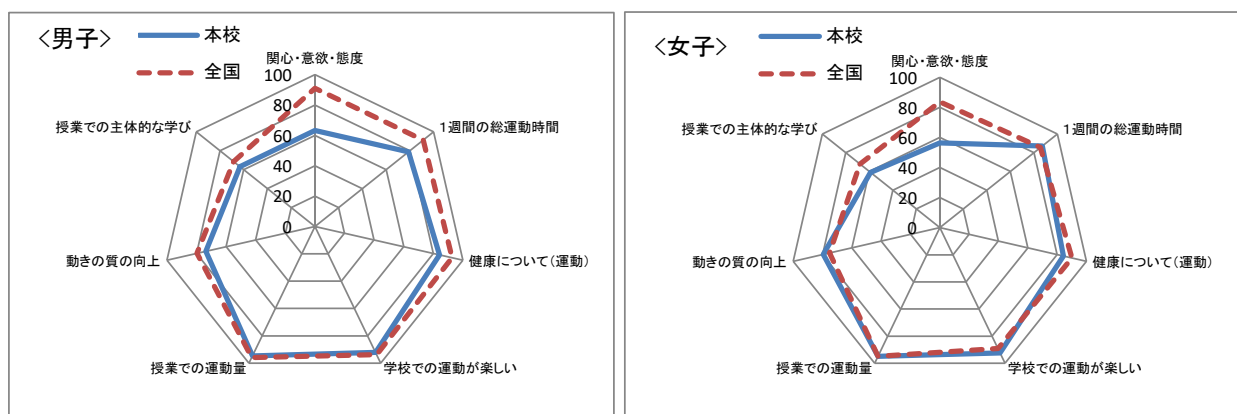
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

学校で楽しく運動することができている児童が多い点や、感染症対策をしながらも授業中の運動量を十分に確保することができた点は成果である。一方で、運動やスポーツのよさを感じている児童や、自分なりの目標を立てて運動に取り組んでいる児童の割合が少ないのが課題である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

毎時間個人で目標を立て、体育カードに記入する時間を設定する。その目標を達成するために運動に取り組むことで、「できた」という達成感を感じることができるようにする。また、活動中はGIGA端末を活用して、友達とお互いの動きを見合ったり、アドバイスや良いところを伝え合ったりする活動を取り入れる。運動のポイントを意識したアドバイスを友達から貰ったり、友達と良いところを教え合ったりすることで、技能や自己肯定感の向上、運動の楽しさを感じられるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体力を向上させたり、運動を身近に感じたりするため、登校後に校庭を走るランニングタイムを実施予定である。また、個人やグループで目標を設定し、楽しく運動に取り組むことができるようにするため、なわとびの様々な技に挑戦する「なわとび週間」や、各学年グループで記録の向上を目指す「全校大縄集会」を実施予定である。